

平成十八年度 研修のご案内

(財)電源地域振興センターでは、平成十八年度も電源地域の産業育成を支援するため、各市町村の職員、農協、漁協、商工会などの各種団体職員や住民を対象にさまざまな研修を実施いたします。

本年度の研修では、これまでに受講された参加者のアンケートにおける要望や電源市町村を取り巻く社会状況の変化を的確にとらえ、「住民との協働（合意形成の促進）」「民間活力の利用」「住民の経済力向上」など、ニーズにあった新しいテーマも取り入れて実施する予定です。また、センター内での研修を中心としながらも現地で先進地事例の体験や交流などの参加型カリキュラムも引き続き取り入れ、研修の二層の充実を図り、電源地域の人材育成に寄与する研修を行います。



コミュニティ・ビジネスなど多彩なテーマで実施

当センターのホームページやお手元に届いた「平成十八年度研修のご案内」をご確認の上、是非ご参加くださいますようお願いいたします。

■お問い合わせ先
 (財)電源地域振興センター 人材育成課
 031540518114
 e-mail: jinzai@div.dengen.or.jp

今後実施される主な国内研修（予定）

研修テーマ	研修時期	場所	定員
地域産業活性化のノウハウを学ぶ	平成 18 年 7 月	センター研修室	40名
ツーリズムによる地域活性化事例を学ぶ	〃	〃	40名
農山漁村の女性パワーによる起業を考える	平成 18 年 8 月	〃	40名
NPOとの協働、コミュニティ・ビジネスの活用	〃	〃	40名
循環型社会の形成	〃	〃	40名
企画立案能力開発実践講座	平成 18 年 9 月	〃	40名
中心市街地活性化対策を考える	〃	〃	40名
ファシリテーター養成講座	平成 18 年 10 月	〃	40名
ツーリズム実践講座（先進地に学ぶ）	〃	先進地	40名
住民と行政が一体となった福祉のあり方を考える	〃	センター研修室	40名
ワークショップを活用したまちづくりの進め方	平成 18 年 11 月	〃	40名
地域資源を活かした特産品の開発・改良を考える（東京開催）	〃	〃	50名
農業の活性化方策を考える	平成 18 年 12 月	〃	40名
水産業の活性化方策を考える	平成 19 年 1 月	〃	40名
地域資源を活かした特産品の開発・改良を考える（地方開催）	〃	未定	40名
人に優しいまちづくり（防犯コミュニティの創生）	〃	先進地	40名
地域資源を活かした観光振興の進め方	平成 19 年 2 月	〃	40名

※ここに記載した研修のほか、各地域経済産業局単位で実施する地域別ニーズ研修、海外研修があります。

平成十八年度

エネルギープラザ開催のお知らせ

平成十八年十月三十一日（火）から十一月二日（木）までの三日間、佐賀県玄海町において「平成十八年度エネルギープラザ（集中検討会）」を開催します。経済産業省と玄海町が主催者として、また当センターが実施主体として開催する本事業は、全国の電源立地

地域の自治体職員や地域振興の関係者を対象とし、地域振興に係る講演及び情報提供や先進事例の紹介などの検討会を集中して開催することにより、地域振興の実践力を高め、電源立地市町村間の情報交換を図ることを目的としています。

プログラムは、初日に開会式と講演会、交流会を、二日目は地域振興事業検討会を、三日目は玄海原子力発電所や三法交付金施設などを巡る実地研修を行います。

参加募集は八月を予定しており、内容につきましては、詳細が決まり次第、当センターのホームページや当誌などでお知らせしてまいります。

本事業では、参加者の中からモニターを選出させていただきます。エネルギープラザ終了後の考え、活動をお聞きしたいと考えています。モニターにご興味のある方は左記までご連絡いただけますようお願いいたします。

■お問い合わせ先
 (財)電源地域振興センター 広報課
 031540518112
 e-mail: kouhou@div.dengen.or.jp

from the Center

この岬の南にある富津市大佐和商工会では、平成十三年に地域活性化の目玉として飲食店の有志が集まり地元産のアナゴを使った「はかりめ井」を考案しました。現在は、同商工会の十二店舗で構成される「はかりめ倶楽部」で売り出し、好評になっています。



はかりめ井

電気のふるさと 産品自慢

はかりめ井（穴子料理）

千葉県 富津市

房総半島の中ほど、東京湾側に位置した富津市は、南北四十キロにおよぶ海岸線と、鹿野山や切り立った崖で知られる鋸山など、海や山に囲まれた自然豊かなところです。

特に東京湾に突出した富津岬は、「関東の天橋立」といわれ、南房総国立公園に指定されています。

「はかりめ」とは、アナゴの側面の点々模様で、昔河岸で使っていた棒ばかりに似ていることからその名が付けられました。

まちのどこかで赤い字に「はかりめ井」と白く染め抜かれたのぼりが立てられ、また、取扱店の前には立て看板が立ち、目印となっています。今後、商工会の合併を控え大佐和の「はかりめ井」から富津の「はかりめ井」へ進展します。また、はかりめ倶楽部ではこの四月から、ご飯にかつお節を入れ地元産の海苔で巻いた郷土料理「てっぼう巻きセット」も扱うようになりました。

お立ち寄りの際には、ぜひご賞味ください。



てっぼう巻きセット

お問い合わせ先

富津市大佐和商工会
 TEL: 0439-65-3591
 http://www.ohsawa.or.jp

電気のふるさと 産品自慢

ブルーベリー日本一?!

広島県 大崎上島町



瀬戸内の陽光を浴びて育ったブルーベリー

ふりそそぐ陽光を浴びて、のどかに広がる瀬戸内海の島々、その瀬戸内海の中央、芸予諸島に浮かぶ大崎上島に日本一のブルーベリーが大切に栽培されています。

ブルーベリーはアメリカが原産地で、フルーツ界の青い宝石として知られています。また、ブルーベリーに含まれる濃い青紫色をしたアントシアニン色素には眼精疲労に作用したり、強力な酸化作用により、傷の回復を早める、血液をサラサラにして血管の老化や循環障害を改善するなど様々な効果があるとされています。

瀬戸内海は日照量が多く雨が少ない気候であるため、大崎上島町のブルーベリーはこのアントシアニン色素の含量が日本一と言われている。

収穫は7月から8月にかけて行われ、採りたての実を使って手作りされたジャムが



手作りジャム

女性に大人気です。ほかにもソーズ、ジュース、ブルーベリーワイン、変わったところではブルーベリー麺なども好評です。また、限定販売品として、ブルーベリーワインを秘伝の酢酸菌でじっくり発酵熟成して造った、爽やかな味わいのブルーベリー酢をご賞味ください。

お問い合わせ先

大崎上島町 商工観光課
 TEL: 0864-65-3120

大崎上島アンテナショップ
 旬菜ひろば・玉手箱
 TEL: 0846-67-5230
 http://shop.ede-c.com/souk/free3.html

人事往来

●経済産業省(2月~4月分)抄

平成18年4月1日付

Table with columns for Name (氏名), Position (氏名), and Department (氏名). Lists personnel changes in the Ministry of Economy, Trade and Industry.

●電源立地都道府県知事(平成18年2月~平成18年4月選挙分)

Table listing prefectural governors (知事) for power siting locations, including names and election dates.

●電源地域市町村首長(平成18年2月~平成18年4月選挙分)

Large table listing municipal leaders (市長) for power siting locations, organized by municipality name, name, and election date.

【編集後記】

特集で掲載させていただいた鹿児島県大口市の事例は、町の出身者ではない方が地域の資源に気づき、地元の方と力を合わせて特産品開発を行ったというものでした。自治体職員である橋本さんは、アドバイザーや主婦の方々が気持ちよく開発に取り組めるような様々な形で支援をしております。また「縁の下力持ち」です。自治体の方のやる気と元気は必ず地域を共鳴させ、町の再生への糸口になると感じました事例でした。今号から掲載が始まった「いきいき電源地域」。読者の皆さまから寄せられたアンケート情報などを基に各地の振興事例をトピックス的に紹介いたします。制度に基づく自治体の諸活動、イベントや催事、特産品開発など皆さまの地域の元気な姿をお寄せください。お待ちしております！(K)

「電気のあるさと」のバックナンバーがご覧いただけます

当センターのホームページから「電気のあるさと」のバックナンバー(PDF形式)がご覧いただけます。トップページの画面右にある「電気のあるさと」のバナーをクリックしていただきますと、各コーナーが別ウィンドウで開きます。是非ご覧ください。

Visual guide showing the website interface with arrows pointing to the 'Click!' buttons for PDF viewing and contact information. Includes the URL http://www.dengen.or.jp/.

お問い合わせ先 (財)電源地域振興センター 広報課 03-5405-8112 e-mail: kouhou@div.dengen.or.jp

【Vol.3読者の声から】

- Key Personを読み、その文化・風土が私のまち伊方町とよく似ていると感じた。地域住民がふるさとを思い、ふるさとのために自ら考え行動し、ふるさとを守ってほしい。(愛媛県伊方町 男性)
●石巻市には仮面ライダーなどの作品で知られる石ノ森章太郎氏のミュージアム「石ノ森漫画館」があり、マンガを生かしたあらゆる可能性を考えながらまちづくりに取り組んでいきます。是非一度お越しください。(宮城県石巻市 女性)
●私の地域は90%以上が山間地です。岡山県真庭市の「21世紀の真庭塾」の木質バイオマスの利用方法が参考の一つになった。(新潟県糸魚川市 男性)
●私の住む高知県四万十川源流点においても山の価値と財価、廃材の活用について苦慮しています。真庭市の事例を読んでその取り組みや人々の地域を思う気持ちに感銘を受けました。(高知県津野町 男性)
●長野市松代地区の取り組みの中で、観光客をもてなす気持ちが地域の活

性化に繋がっているということが興味深かった。(山口県萩市 男性)

●長野市松代地区の「ホイッサッサ松代」のあらゆる手作り商品は、すぐく息が長いものに感じられ、またその取り組みに感心します。(福井県高浜町 女性)

【読者プレゼント】今号の「電源地域のサクセスストーリー」で紹介した鹿児島県大口市の伊佐名物焼酎豚本舗様のご厚意により、本格焼酎と黒豚のおいしい出会い「伊佐名物 伊佐の焼酎豚と伊佐の黒豚井」をセットにして五名様様にプレゼントいたします。焼酎のコクある香りと六白黒豚のもつ良質な旨みと歯切れのよいやわらかさをご堪能ください。とじ込みのアンケートハガキに本紙へのご意見、ご感想などをご記入の上、七月二十日(消印有効)までにお送りください。なお、当選の発表は発送をもって代えさせていただきます。

